

各 位

会 社 名 株式会社マネーパートナーズグループ
 代表者名 代表取締役社長 奥山 泰全
 (コード番号：8732 東証第一部)
 問合せ先 取締役 C F O 中西 典彦
 (TEL. 03-4540-3804)

平成29年 7月次 月次概況 (速報) のお知らせ

平成29年 7月次の当社グループの月次概況 (連結ベース) を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

記

年 月	平成 28 年											
	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
営業収益 (単位：百万円)	572	559	529	473	468	738	551	401	525	362	562	563
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	92,445	96,278	70,156	74,405	68,455	91,113	88,556	61,925	69,423	55,772	96,989	76,584
外国為替取引口座数 (単位：口座)	272,521	274,164	275,538	276,891	278,360	280,816	282,791	284,866	286,494	287,842	289,389	290,820
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	60,316	60,224	59,769	59,413	59,478	57,133	57,278	58,715	58,608	59,136	60,882	61,201
一般顧客	49,244	47,950	48,396	48,825	49,273	48,465	48,378	49,173	49,046	48,987	49,458	49,201
金融法人 (B to B)	11,072	12,274	11,373	10,588	10,205	8,668	8,900	9,541	9,562	10,148	11,423	12,000
マネバカード口座数 (単位：口座)	(平成 29 年 3 月分からの開示項目であるため非開示であります)											

年 月	平成 29 年											
	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
営業収益 (単位：百万円)	458	412	521	469	488	449	404					
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	95,875	77,214	75,386	63,192	72,786	82,184	88,166					
外国為替取引口座数 (単位：口座)	292,553	294,472	296,861	298,467	300,139	301,557	303,106					
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	60,221	60,814	60,325	59,995	61,529	62,091	62,774					
一般顧客	49,392	49,446	49,784	50,108	50,819	51,353	52,431					
金融法人 (B to B)	10,828	11,368	10,541	9,886	10,709	10,737	10,342					
マネバカード口座数 (単位：口座)	(非開示)		73,733	77,503	81,189	85,019	90,702					

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っておりません。
2. 外国為替取引口座数、マネバカード口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。
3. 平成23年 8月より差金決済取引 (CFD) の取扱いを開始しており、CFDにおける預り証拠金、取引高 (原取引単位を米ドルに換算) 及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。
4. 外国為替取引預り証拠金は、一般顧客からの取引によるものと B to B 取引先である金融法人からの取引によるものを区分して表示しております。

< 7月次の概況 >

7月の外国為替市場は、米ドル／円については、1ドル＝112円台前半で取引が始まり、良好な米国経済指標の結果を背景にドル高で推移し、7日には米国雇用統計の結果を受けて114円台前半をつけました。その後、堅調な株価や長期金利を背景に114円台半ばまで値を伸ばしたものの、トランプ大統領の長男が選挙期間中にロシア政府の弁護士と接触したと自ら公表すると所謂ロシアゲート疑惑が再燃し、ドルは下落に転じました。その後も、オバマケア代替法案の可決への不安や政府高官の辞任など、トランプ政権への信認が問われる情勢のなか、110円台前半で月末を迎えました。一方、米ドル／円以外の主要な取扱い通貨である欧州・オセアニア通貨については、月初から円に対して値を上げたものの、その後極めて値動きに乏しい相場推移となり、米ドル／円を含めた全体としての変動率は、極めて低調であった前月を更に下回る水準となりました。

このような状況の中、外国為替取引高は、主要通貨ペアのスプレッドを縮小したこともあり、前月比7%増加の881億通貨単位となりましたが、スプレッド縮小による収益率の低下が取引高増加を相殺した結果、営業収益は、前月比10%減少の404百万円にとどまりました。また、顧客基盤については、外国為替取引口座数は前月比1,549口座増加の303,156口座、マネパカード口座数は前月比5,683口座増加の90,702口座と、外国為替相場の変動率の低下等の影響にもかかわらず堅調な増加となった一方、外国為替取引預り証拠金も、前月比682百万円増加の62,774百万円と堅調に推移しました。

以 上